

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合	1	4	新編国語総合 (東京書籍)	「プレミアムカラー国語便覧」(第一学習社)・「漢字ボックス」(浜島書店)・明鏡国語辞典(大修館)・全訳読解古語辞典(三省堂)
科目の概要と目標	・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし言語感覚を磨き、言語文化に対応する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			
単元	学習内容		到達度目標	
随想Ⅰ	「海流ミクロネシア」 「ルリボンカミキリの青」		<ul style="list-style-type: none"> 随想にふれ、筆者の感じ方・考え方を読み取る。 国語辞典を積極的に利用する姿勢を養う。 	
小説Ⅰ	「とんかつ」		<ul style="list-style-type: none"> 小説に親しみ、ストーリーのおもしろさを味わう。 登場人物の心情を読み取り、主題について考える。 	
古文入門	「児のそら寝」 古文学習のしるべ1 古文の仮名遣いほか 「絵仏師良秀」 古文学習のしるべ2 用言の活用		<ul style="list-style-type: none"> 古文を読むための基礎をしっかりと身につける。 登場人物の心理に注目して、古文の世界に親しむ。 古語辞典の使い方を理解する。 ノートの作り方や予習の仕方など、古文の学習法を理解する。 動詞の活用9種類について理解を深め知識を身につける。 	
評論Ⅰ	「未来をつくる想像力」		<ul style="list-style-type: none"> 評論を読んでその内容を的確に理解する。 現代社会における様々な問題に関心を持つ。 	
詩	「空をかついで」 「二十億光年の孤独」		<ul style="list-style-type: none"> 詩に親しみ、豊かなイメージの世界を味わう。 詩の言葉の持つ重みや表現の効果について考える。 	
言語活動	1 「スピーチをする」 2 「意見文を書く」		<ul style="list-style-type: none"> 話す速度、声の大きさなどに留意して、自分の意見や考えをはっきり述べる。 相手を意識しながら、自分の伝えたいことをわかりやすい言葉で書く。 	
漢文入門	訓読の基本 再読文字・助字 「守株」「借虎威」		<ul style="list-style-type: none"> 訓点や書き下し文などの漢文訓読の基礎をしっかりと身につける。 名言や故事を読み、漢文の世界に親しむ。 	
評論Ⅱ	「美しさの発見」		<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章の読解の仕方を理解する。 筆者が主張していることを読み取る。 	
古文	随筆・物語 「亀山殿の御池に」 「今日はそのことをなさんと思へど」 「芥川」「筒井筒」		<ul style="list-style-type: none"> 古文の内容を正確に理解する力を養う。 『徒然草』の人間観察の深さ、おもしろさを味わう。 歌物語の特色を味わい、古典作品の背景や古典常識などについて知識を深める。 	
小説Ⅱ	「羅生門」		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動と心情の変化を読みとり、題名と主題のかかわりについて理解する。 	
漢文	唐詩 「春暁」「蛾眉山月歌」 「春夜喜雨」 史話 「魏武捉刀」		<ul style="list-style-type: none"> 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 中国の自然や人間の心理が詩にどのように詠まれているかを考える。 詩形・押韻・構成・対句について理解する。 話の展開に即して、内容を理解する力を養う。 	
言語活動	3 「討論する」		<ul style="list-style-type: none"> 相手を納得させるために、話す内容を論理的に組み立ててスピーチをする。 	